



楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第124号

発行日

2017年12月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」



「子育て支援コーナー」第42回企画展示

「親子で防ごう! 生活習慣病」がはじまりました。

★期間:平成29年12月5日(火)～平成30年3月4日(日)

新しい本が 入りました。

() 内の数字は
棚の番号です



親子で健康!

『「逃げ恥」にみる結婚の経済学』
是枝俊悟/[著]
毎日新聞出版/刊
2017. 10
(支援 1-1)

『お母さんおやつ』
トミタセツ子/著
主婦の友社/刊
2017. 11
(支援 2-2)

『子育てはガマンしない』
平塚さとみ/著
秀和システム/刊
2017. 10
(支援 3-1)

『「教育費をどうしようかな」と思ったときにまず読む本』
竹下さくら/著
日本経済新聞出版社/刊
2017. 10
(支援 4-4)

最近、生活スタイルの変化により、大人だけでなく子どもにも生活習慣病と呼ばれる糖尿病、高血圧、脂質異常症（高脂血症）などが増えています。また、生活習慣病予備軍の子どもも増加傾向にあります。

これからの季節、寒くて朝、なかなか起きられなかったり、体を動かすのがおっくうになり、家の中で過ごしがちになります。また、年末年始には、ついつい食べ過ぎたり、夜更かしをしたり、大人も子どもも生活リズムが乱れがちになります。この機会に親子で日頃の生活習慣を見直してみませんか。

子育て支援コーナーでは、正しい生活習慣を身につけるために役立つ、運動、食事、睡眠などの図書を中心に、約200冊を展示・貸出しします。

どうぞ、ご利用ください。

展示図書リストは当館ホームページから確認できます。

(<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/kosodate/kikakutenji>)

こんな時には、こんな本！

(第9回 男の子の子育て)

我が子が赤ちゃんの頃は、性別をそれほど気にすることなく育てていました。それが、息子が3歳を過ぎたころから、「やっぱり、男女の違いってあるんだなあ」と思うことが多くなりました。3歳過ぎてからの息子はスーパーに買い物に行く度におもちゃ売り場に走って行き、欲しい車のおもちゃを買ってもらえるまで、「買う～、買う～」と、どこまでも床を転がりながら、大号泣していました。夏になると、毎日のようにセミの抜け殻を虫かごいっぱい集め、それを眺めて満足気にしていました。私は、そんな息子の自分の子ども時代とはかけ離れた行動に日々悩まされたり、驚かされたりしていました。

現在小学生になった息子はというと、今でも自分の好きなものへの執着やコレクター癖は相変わらずです。でも、今ではたいていのことは、「これが、息子(男の子)の特性なんだなあ。」と笑って見ていられるようになりました。

『うちの子ってヘンですか?～男子育児のしんどさが解消される本』

小林 恭弘/著 SBクリエイティブ 2015. 9

著者は、自身も男三人兄弟で、三人の男の子の子育て、保育士の経験もある自称「男の子のプロ」です。そんな著者が思う男の子の素敵どころの一つは「純粹」なところ。「とにかくすきになったことを、徹底的に愛し抜きます。対象を溺愛します。」とのこと。

そういえば、先日、息子の大好きなアニメの数あるキャラクターを私がほとんど知らないことで、息子に「なんで、知らんの!!」と激怒されました。そのときは、「なんにもそんなに怒らなくても」と思ったのですが、「そうか、あれは、アニメを溺愛する気持ちから生まれた怒りだったのか!」とすっきりしました。

「男の子ってよく判らない。」とと思っているお母さん方、本書を読めば、男の子の謎が解明できますよ!



『お母さんの男の子にひびく伝え方』

小笠原 恵/著 あさ出版 2015. 11

「息子に何を言っても理解しているのか、反応が悪くて判らない。」と思うことはありませんか?

本書によると、男の子にわかってもらう「伝え方」には、ちょっとしたコツが必要とのこと。そのコツの一つは「伝えたいことがあるときは、息子が聞く姿勢をつくって」伝えること。テレビ、おもちゃなどに夢中なときは論外、それらが目に入らないよう「お母さんの顔を息子の近くに持って行って、『ねえ、大切なことを言うよ』とひと言告げ」、さらに「できればいつもとは違う、真剣な表情で。視線は息子の目」で伝えるのだそうです。

今まで、私はテレビを見ている息子に向かって叱ることが圧倒的に多かったので、「やっぱり、息子にはほとんど伝わってなかったのか。」とやるせない気持ちになりました。伝え方ってほんとに大事ですね。



もうすぐ、子どもたちが心待ちにしているクリスマスですね。サンタクロースの存在を疑い始めた小2の息子に「サンタさんは、信じてる子だけにプレゼントを持ってきてくれるんだよ。」と言ってみたところ、案の定、「俺、信じるわ!」と期待に目を輝かせて言っていました。